

2020年2月7日

各位

会社名 アンジェス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)

**Barcode Diagnostics 社技術の実用化に向け、公益財団法人がん研究会と共同研究を開始  
— 個々の患者さんに有効な抗がん剤を特定する診断技術に関する研究 —**

当社は今般、2019年8月26日に資本提携(当社が株式を取得)を発表いたしましたイスラエルのバイオハイテク企業 Barcode Diagnostic 社(以下 Barcode 社)が開発した、個々の患者さんにとって有効な抗がん剤を迅速に特定する診断技術の早期の実用化に向け、公益財団法人がん研究会(所在地 東京都江東区、理事長 馬田一、以下、がん研究会)と共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

現在、抗がん剤によるがん治療では、個々の患者さんに最も有効な抗がん剤を事前に見出すことは困難で、実際に抗がん剤を投与してその効果を確認するまでの間、有効でないかもしれない抗がん剤を投与し続け、不要な副作用を被る可能性があります。

Barcode 社は、患者さんにとって有効性が期待できる数種類の抗がん剤を、本格的な治療に先立って、極少量ずつ一度に投与することによって、副作用を発生させることなく、個々の患者さんにとって最も有効な抗がん剤を迅速に特定するための診断技術を開発しています。

がん研究会は、がんの新しい診断・治療法の開発において、生命科学の先端を開拓している国際的にも評価の高い研究機関であり、数多くのがん細胞に対する抗がん剤の有効性データを有しております。本共同研究では、がん研究会の持つ最先端の知見を活用し、Barcode 社の診断技術の評価を行うとともに、実用化に向けた実験的検討を進めることで、同社の診断技術をいち早くがん治療に役立てることができるよう協力してまいります。

今年度の通期連結業績に与える影響は軽微です。

<ご参考>

Barcode Diagnostics 社について

Barcode Diagnostics は、2017年3月に設立され、イスラエルに本社を持つベンチャー企業です。体内の腫瘍に対するさまざまな抗がん剤の有効性を迅速かつ確実に評価し、各患者さんに最適な個別治療を選択する独自の診断技術を開発しています。

公益財団法人 がん研究会について

公益財団法人がん研究会は、1908年に設立された日本初のがん専門機関です。「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」という基本理念達成のために、研究所、病院等を擁し、基礎研究、臨床研究とが一体となった活動により、日本のがん研究と診療をリードしています。

お問い合わせ先

アンジェス株式会社 社長室 広報・IR 担当 03-5730-2641

以上